

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		旧高久家住宅の管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020502000914
						単独/補助	単独	所属課	060201 都市整備課
政策体系	総合計画の施策名	0205 文化財の保存活用						課長名	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	都市政策G
	施策名	05 文化財の保存活用						担当者名	
	手段名	02 ②文化財の活用							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	04	05	01	00	伝統的建造物群保存地区推進事業		
法令根拠						歴史まちづくり法・桜川市旧高久家住宅の設置及び管理に関する条例・同施行規則			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
	<p>【事務事業の内容】 旧高久家住宅の管理業務及び施設貸出を行う。 当該施設は、有償で貸出をしており、営利目的での使用もできる。 店舗等の営業も可能なので、幅広い催事に利活用が可能で、地域活性化の拠点となる施設として活用されている。</p> <p>【事業費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の電気料 上下水道使用料 土地借上料
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の支払い。 土地借上料の支払い。 貸出申請の受付及び事務処理

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)			
			貸出件数	件	7.00	1.00	7.00		7.00	7.00
			光熱水費の支払い		0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
			管理委託費の支払い		0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
貸出申請の受付及び事務処理		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)			
			施設使用者数	人	455.00	0.00	700.00		700.00	700.00
			市民・使用者 (使用団体) ・来訪者		0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00		0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)			
			貸出日数	日	282.00	0.00	290.00		300.00	300.00
			公開日数	日	166.00	0.00	359.00		359.00	359.00
			文化財を適切に管理し、利活用促進することで文化財の歴史的価値を共有する。また、文化財の新たな継承の形を構築する。		0.00	0.00	0.00		0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	399	373	373
	事業費計 (A)	千円	399	373	373	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
	10 需用費	81	10 需用費	81
	13 使用料及び賃借料	292	13 使用料及び賃借料	292
	合計	373	合計	373

事務事業名	旧高久家住宅の管理運営事業	事務事業No.	20502000914	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成23年度に旧高久家住宅を公有化したため開始された。令和元年度からヤマザクラ課が通年で貸出申請をして、地域おこし協力隊の活動拠点として使用している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
常時開放してほしい、桜川市の物産などを紹介する場所にしてほしい、催事を多数開催してほしい等の意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 当該施設の利活用を促進＝文化財の新たな継承の形を構築することで、地域活性化を目指すものであり、市の政策体系に結びついている。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 当該施設は歴史的風致維持向上計画により位置付けられた歴史的風致形成建造物であり、妥当である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現在、施設管理を都市整備課、活用をヤマザクラ課で行っている状況であり、施設管理をヤマザクラ課が直接行うことで利活用がより円滑に行える。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ・地域活性化担当部局への事業の移管 ・指定管理者制度の導入
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 現在の事業費はほぼ義務的経費となっている。管理業務を実際の利活用促進を実施している部局に移管することが可能である。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 利用に制限を設けておらず且つ貸出料金も光熱水費と土地借上料に相当する分としている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	地域おこし協力隊の活動拠点としてヤマザクラ課による使用申請があったが、新型コロナウイルスの影響により、年度を通して公開を見合わせる形となった。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 企画系部局への事業の移管 指定管理者制度の導入		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認